

ご応募ありがとうございました!

第20回 農業に関する図画コンクール

農業委員会主催の「第20回農業に関する図画コンクール」の入賞者が決まり、11月23日、24日の産業文化祭で作品が展示されました。

応募総数156点。いずれも町内の小学生が、農業について真剣に考え描いた力作ばかりです。ここでは、その中から選ばれた最優秀賞受賞作品と入賞者をご紹介します。 <敬称略>

最優秀賞「スイカのしゅうがく」



野口 結衣 (用土小3年)

優秀賞	室岡 茉那	桜沢小2年
	藤巻陽菜乃	折原小5年
	矢部 愛	鉢形小5年
	白木 初音	男衾小1年
	杉田 陽和	男衾小3年
	河合 愛奈	男衾小6年
	高橋 敬大	用土小2年
	池田 涼華	用土小3年
優良賞	萩原 敬悠	寄居小1年
	松本 知恵	寄居小1年
	市川 十有	寄居小2年
	新井 遥	桜沢小2年
	黒澤 僚太	桜沢小3年
	深田穂乃果	桜沢小3年
	和田 美優	桜沢小6年
	荒井 瞭汰	折原小3年
	落合 天音	鉢形小1年
	樋口 裕紀	鉢形小2年
	齊藤汰玖斗	鉢形小3年
	新井 愛華	男衾小2年
	井上 知乃	男衾小2年
	大村あかり	男衾小2年
	押田 翠花	男衾小2年
	一柳 凜花	男衾小3年
	倉林陽菜乃	男衾小3年
	高橋ひより	男衾小3年
	松本 羅華	男衾小3年
	小川 翔也	男衾小5年
	加藤 珠里	男衾小6年
	高橋 遥香	用土小1年
	高橋 穂香	用土小3年
	磯田 真衣	用土小4年
高橋 綾香	用土小6年	

産業文化祭表彰

農家の皆さんが丹精込めて育て上げた品々が出品された共進会。ここでは入賞者をご紹介します。 <敬称略>

埼玉県知事賞	そさい類	坂本 大仁	上の原
	植木類	金子 理一	坪下小路
	乳牛	茂木 城守	立原
寄居町長賞	芋類	大澤 勇	塚田
	そさい類	舍利弗 武	鷹ノ巣
	蚕繭	戸澤 和幸	上の原
	乳牛	齊藤 悦雄	用土12
寄居町議会議長賞	玄米	福島 和夫	用土6
	芋類	小山 丈夫	今市
ふかや農業協同組合代表理事組合長賞	植木類	新井 一弘	用土5
	雑穀類	森 保夫	内宿
	芋類	小林 喜嘉	用土6
寄居町議会総務経済常任委員会委員長賞	そさい類	大澤 績	塚田
	植木類	笠島 栄一	用土1
寄居町農業委員会長賞	植木類	清水 武	用土10
埼玉県中央部森林組合代表理事組合長賞	麦類	梅澤 功	今市
全国農業協同組合連合会埼玉県本部運営委員会長賞	茸類	吉田 一行	鷹ノ巣
	雑穀類	井田 安雄	用土10
	芋類	原口 國八	上の原
埼玉県畜産会長賞	果実類	坂本キクノ	菅原
	植木類	中島 賢司	用土10
埼玉県農業共済組合連合会長賞	乳牛	茂木 城守	立原
	果実類	田島 博	金尾
	植木類	小林 成行	用土8
埼玉北部農業共済組合長賞	乳牛	加藤 憲治	用土7
	芋類	坂本 大仁	上の原
埼玉県酪農協会長賞	乳牛	齊藤 悦雄	用土12
	乳牛	丸橋 高記	用土4
寄居町畜産振興協会長賞	乳牛	加藤 憲治	用土7
	乳牛	島田 栄一	用土4
	乳牛	志村 喜代	六供
寄居町産業文化祭実行委員会長賞	果実類	保泉みえ子	関山
	植木類	清水キヨミ	用土10
	植木類	野澤 和廣	用土12
	植木類	小島 博	用土10

中学生の

「税についての作文」

熊谷税務署管内納税貯蓄組合連合会では「税を考える週間」にあわせ「税についての作文」を募集しており、11月11日に熊谷文化創造館「さくらめいと」で優れた作文の表彰が行われました。ここでは、町からの入賞者をご紹介します。 <敬称略>

関東信越国税局管内 納税貯蓄組合連合会会長賞
「税金で救われた小さな命」
高橋 知希 (男衾中3年)

寄居町教育委員会教育長賞
「増税問題とこれからの日本」
小野 朋生 (寄居中3年)

熊谷税務署管内 納税貯蓄組合連合会優秀賞
「日本のためにできること」
根本 愛奈美 (寄居中3年)

寄居町長賞
「夢と税金」
小川 雄大 (城南中1年)

「早く車の免許取って運転したいな。」中一のぼくは、まだ免許を取得する資格がない。今は休日になると、家族でドライブをするのが一番の楽しみである。
しかし、最近になって外出回数が減ってしまったので、両親に理由を聞いてみた。
すると、「ガソリンが高くなったから、また来週にしよう。」と言われた。残念な気持ちでいっぱいなのに、ガソリンに税金が含まれていること、車に関わる税金は、他にも色々あ

ることを話してくれた。
ぼくは、今まで税金といえば消費税しか関わりはないと思っていたが、ぼくの夢である車にも税金が関わっていることに驚いた。

ガソリン税の他にも車を購入するときはもちろん消費税がかかり、取得したときは取得税がかかり、保有しているときは自動車税・軽自動車税・自動車重量税がかかり、車を使用するときにはガソリン税やガソリンを購入したときの消費税がかかってしまうようだ。こんなに一つの物に税金がかかる物は、他にはないと思う。ぼくは、夢をあきらめたくない気持ちと、不安な気持ちで複雑だった。

そして、払った税金がどこへ行き、何の目的で使われているのか調べてみた。
その中で、ぼくが身近に感じていた消費税五パーセントは、国と地方(県・町)に四対一の割合で配分されていた。また、自動車税は都道府県へ、軽自動車税は市町村へ配分され、重量税は約八割が、消耗した道路の保全や新しい道路の建設に使われている。ガソリン税も、道路の整備や保全、建設に使われていた。でも実際、ぼく達に関係のない所で道路工事が行われていることが多かったため、あまり実感できなかった。

ところが、先月ぼくは自転車で帰宅途中、車を慌てて避けようとして砂利道で転倒し、足を打撲して病院へ行った。二週間位は運動もできず、辛かったときのことを思い出した。

やっぱり、自転車や車はきれいに舗装された道路が必要だと、つくづく思った。あのとき大きな石があったら、もっと大ケガになっていたと思う。そして、皆が通る道路や歩道はどんなときでも安全でなければならぬと思う。

もし、税金がなかったら、打撲したときの医療費は全て自己負担になっていたし、事故で救急車を呼んでも有料になっていたと思う。また、帰宅中に災害で信号機が故障しても、交番のお巡りさんと呼ぶのに有料になってしまう。誰もお金を払ってまでも呼ぶ人はいないと考えると、税金は大切な目的を果たしているのだと思った。
ぼくの夢を叶えるためにも、税金は関わりが深いものだと思う。これからも、目的や用途を考えながら、税金と関わっていききたい。
ぼくを含め、これから夢を抱いている人達のためにも、安全な国・県・町になってほしいと強く思っている。